

岡山県総合文化センターニュース

道しるべ

長船町八日市 常夜燈



吉井川の左岸、備前大橋の上流約300mのところに、上部を欠損した常夜燈の下台部が残っている。左側面に「右くた里みち 左 西大寺道」、右側面には「熊山地蔵大権現」、背面には「金比羅大権現 瑜伽大権現 西大寺観世音 牛玉所大権現」という文字が刻まれている。この道しるべは山陽道と西大寺道の分岐点に置かれていた。

山陽道は、この地点で吉井川を渡って対岸の一日市へ至り、藤井宿を経て岡山城下へと続く。

現在この道しるべは土手の中腹に位置しているが、これは時代とともに土手が高くなったためである。

あまり知られてはいないが、江戸時代の山陽道の様子をうかがい知ることができる貴重な道しるべである。

【参考図書】

- ・『歴史の道調査報告書 山陽道』（岡山県歴史の道調査報告書第一集）岡山県教育委員会／編集・発行 1992年
- ・『山陽カラーシリーズ25 山陽道の宿場町』竹林栄一・緑川洋一／著 山陽新聞社 1981年
- ・『長船町史（民俗編）』長船町史編纂委員会／編 長船町 1995年



*** 岡山県総合文化センター企画美術展の紹介 ***

クロスオーバー10展 2003

展覧会名 「現代作家の眼」クロスオーバー^{テン}10展 2003

会 期 10月22日(水)～11月2日(日)

会 場 岡山県総合文化センター 第一展示室

主 催 「現代作家の眼」展実行委員会
おかやま県民文化祭実行委員会
岡山県総合文化センター

入 場 料 無料



黒田倫代(徳島)作品

今回で第4回となるクロスオーバー10展は、中四国各県及び兵庫県で活躍中の新進美術作家による美術展で、30年近くの歴史のある汎瀬戸内現代美術展を発展的に継承して始まったものです。

出品作家は若手が主体で、参加各県で独自の表現を展開する11名が各県美術館学芸員の推薦などにより選ばれ、平面・立体・インスタレーションなどの多彩で個性的な作品を出品して会

場を埋め尽くします。

その研ぎ澄まされた感性のもとに生まれた作品群からは、現代の美意識が鮮烈に印象づけられるとともに普遍的なメッセージを読みとることができると思います。

とかく難解と言われる現代美術ですが、それぞれの「今」の表現は、現代を生きる私たちにとって実は身近なものではないでしょうか。

皆様のご来場を心よりお待ちしております。

*** お知らせ ***

“平成15年度岡山県読書大会・一日こども図書館フェスティバル”の開催

広く県民の皆様が一堂に会して読書の意義を再認識するとともに、読書への関心と興味を喚起するため、また、子どもたちの生きる力を育むために読書活動を推進し、図書館を設置していない町村の子どもたちに、本との出会いや本に親しむ機会を提供するために岡山県読書大会・一日こども図書館フェスティバルを寄島町で開催します。

内容は、図書館活動や読書活動を積極的に行っている方々の表彰、一日こども図書館員任命式に続いて、直木賞受賞作家の志茂田景樹氏による自作童話の読み聞かせと記念講演があり

ます。(演題「子どもの心にロマンの森を～読み聞かせて心豊かな子どもに～」)

また、地元ボランティアによる人形劇、紙芝居、おはなし会、一日こども図書館員による本の貸出、本のフリーマーケットなど多くの楽しい催しがあります。

開 催 日 平成15年9月27日(土)

10時30分～15時30分

会 場 寄島町総合福祉センター

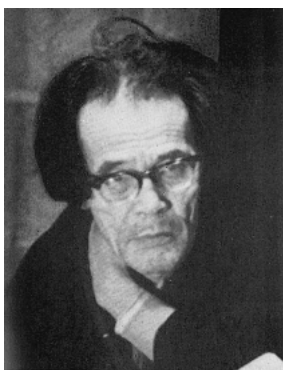
(浅口郡寄島町7540-5)

対 象 県民の皆様、読書に興味のある方、お子様とご一緒に、ぜひご参加ください。

入場無料 参加申込は不要です。

主 催 岡山県読書大会実行委員会、岡山県読書推進運動協議会、寄島町教育委員会

おokayama人物往来 (75)



出 隆
出隆著作集/第3巻 エッセー
勁草書房発行 より

いで 隆
たかし

哲学者出隆は明治25年(1892)岡山県苫田郡津山町(現在津山市)で生まれた。父渡部惟明は鶴山高等小学校校長などを務めた教育者であった。次男であった隆は、兄弟が多いために学資不足に悩む実家から父方の叔父出道直の養子になった。津山中学校入学の時である。

養父出道直は小学校校長や真庭郡・久米郡・苫田郡の各郡の視学などを

歴任。真庭郡勝山町長にも就任している。

隆は明治42年(1909)第六高等学校第二部乙類(理農コース)へ入学するが同年11月には退学している。退学理由は哲学をしたくなつたためであるが、第二部乙類在籍者の約半数が落第することに恐れをなしたのが真相らしい。隆と同時に入学し、落第しないで卒業したのは三宅馨(薬学博士)、田村剛(造園学の大家)他、わずか数人だった。退学の後、高等小学校代用教員となったが明治43年(1910)3月には退職し、同年9月第六高等学校一部乙類に改めて入学する。2年生になってまもなく、内田百閒の留守宅に下宿したが、熱を出して百閒の母や祖母に心配をかけることになった。診断の結果、肺尖カタルと判明、転地療養を余儀なくされた。

大学の哲学科へ入学するためには数学と物理学の履修が必要であったが、休学していたため履修していなかった。そこで大正2年(1913)東京帝大文科大学文学科に入学、言語学を専攻する。この時の同級生には英文学科に芥川龍之介、久米正

雄、哲学科には松岡譲らがいた。大正3年(1914)には、石井直三郎らと尾上柴舟をかついで短歌雑誌「水鏡」の創刊に加わっている。

この大正3年、念願の哲学科に転科入学、大正6年(1917)7月に卒業した。卒業論文は「スピノザ哲学に於る二元性と認識」であった。大学時代、桑木巖翼、波多野精一から思想上の大きな影響を受けた。

大学院では「近世認識論史」を研究し、副手にもなった。大正7年(1918)から数校にわたる私立大学の教授を兼務したが、大正13年(1924)10月から東京帝大文学部助教授となった。大正15年(1926)哲学史研究のため欧州留学に出発、英仏独三国をまわって昭和2年(1927)帰国。ソクラテスや西洋哲学史に関する著書や論文を発表した。

昭和10年(1935)学位請求論文「ギリシャ人の靈魂観と人間学」を提出、同年東京帝大教授となる。昭和12年(1937)文学博士となる。ソクラテス、アリストテレスなどを中心にギリシャ哲学の研究を行い、多数の著書や論文を発表した。

昭和23年(1948)教え子を戦地に送ったことへの反省と真の自由を得るための闘争をしようと日本共産党に入党(最終的には昭和39年除名)。昭和26年(1951)東大教授を定年前に辞し、無所属で東京都知事選に出馬した。昭和31年(1956)日本哲学会委員長に選ばれ、1期在任する。

水泳は津山神伝流免許皆伝、六高寮歌「野辺の小川に」の作詞者でもあった。昭和55年3月9日没、享年87。

【参考文献】

- 「出隆著作集 全8巻」(出隆著 勁草書房)
- 「出道直先生伝記」(中村唯一編 出道直氏古稀祝賀会S9)
- 「ふるさと文学館 第39巻」(磯貝英夫編ぎょうせいH6)
- 「朝日新聞 1980・3・10朝刊」
- 「津山市史 第7巻」(津山市S60)
- 「山陽新聞 1980・3・10朝刊」

当館の参考図書 (129)

『たべもの起源事典』

岡田 哲 編 東京堂出版 2003年1月

食べ物は、私たちの生命の維持に不可欠であるばかりでなく、生活に潤いを与えてくれるとても大切なもの。その食べ物の起源や歴史に気軽に触れることができるのが本書で、素材・料理・調理器具・用語など1400語が取り上げられている。先人たちの食べ物への情熱が伝わってくる事典である。

「さんま」の項目を見ると、さんまの生態のほか、サンマずしが名物となっている和歌山県勝浦・新宮には佐藤春夫のさんまの歌詩碑が立つことや、さんまが食用にされるようになった時期な

どが、文献をもとに詳しく書かれている。流行し始めたのは安永年間(1772年~80年)だとか。

「シュークリーム」の項目を見ると、日本で初めて試作されたのは明治10年、同19年に販売開始。尾崎紅葉は好物だったそうで、自身の日記に記載がある。大正3年に不二家本店が開店と同時に売

り出し、名物となったそうだ。

各所に図版がちりばめられ、引用文献には刊行年次が明記されている。また、巻末には参考文献が時代別に列挙されているので、食文化研究の熱い歴史を感じることができる。



新着郷土資料紹介

おかやま博物館めぐりの旅 岡山県博物館協議会編、発行 2003 161\$

吉備の心と形 人見詳子写真 坂本明子詩 人見写真事務所発行 2003 1冊

倉敷の戦争遺跡マップ 倉敷市総務局総務部総務課〔編〕 倉敷市発行 2003 1枚

岡山県市町村年報 平成14年度 岡山県企画振興部市町村課〔編〕、発行 2003 483\$

われらが二中 岡山二中一八会五十五周年記念誌 岡山二中一八会五十五周年記念誌編集委員会発行 2003 153\$

岡山県カヤツリグサ科植物図譜 カヤツリグサ属からシンジュガヤ属まで 星野卓二〔ほか〕著 山陽新聞社発行 2003 229\$

僧文英と石仏 林信男著、発行 2003 222\$

勝央町遺跡地図 勝央町教育委員会編、発行

2003 1冊

武蔵 岡山MUSASHIが生まれ、育った国 岡山県大河ドラマ『武蔵』推進協議会〔編〕、発行 2003 1枚

新あなたが選ぶ特別養護老人ホーム 岡山県版福祉オンブズおかやま編、発行 2003 271\$

国際理解教育国際貢献ボランティア活動ガイドブック 岡山県国際交流協会編、発行 2003 68\$

岡山県版レッドデータブック 絶滅のおそれのある野生動物 岡山県生活環境部自然環境課制作 岡山県環境保全事業団 2003 465\$

環境報告書 2002 おかやまコープ〔編〕、発行 2003 22\$

岡山県直売所ガイドマップ 岡山県下138カ所の農林水産物直売所がみなさまのお越しをお待ちしています! 岡山県ふる里いきいき推進協議会〔編〕、発行 2003 1枚

企業ガイドみまさか 2004 若者の定住化推進委員会編、発行 2003 51\$

新着外国語資料紹介

十字軍

The far - farers : A journey from Viking Iceland to Crusader Jerusalem
(by Victoria Clark / Macmillan / 2003)

およそ1000年前。若いヴァイキング、トルバドルは、アイスランドのキリスト教改宗に失敗した後、聖地エルサレムへ船出した。十字軍遠征が始まる100年ほど前のことである。時は下って西暦2000年。著者クラークも、このトルバドルとその後の十字軍の足跡を丹念にたどり、ヨーロッパ各国からエルサレムまで旅した。そして、11世紀に始まる聖戦と21世紀の闘争の類似点を描いた。現代の世界情勢は1000年前と同様、宗教と政治が複雑に絡み合い混沌としている。

発見記

Fossil fish found alive : Discovering the coelacanth
(by Sally M. Walker / Carolrhoda Books / 2002)

学名ラティメリア カルムナエ・スミス、別名を‘生きていた化石’とも呼ばれるシーラカンスの発見と研究の記録である。7000万年前に恐竜とともに絶滅したと考えられていたシーラカンスの生きた個体が発見されたのは、1938年12



月、南アフリカ沖でのことだった。以来、フランスを筆頭に世界中の生物学者によって研究が続けられ、年々、その生態が明らかになりつつある。本書は豊富なイラストとカラー写真で、様々な角度からシーラカンスの魅力を伝えてくれる。

論語

Confucius : The golden rule
(by Russell Freedman / Arthur A. Levine Books / 2002)

孔子の生涯とその教え‘論語’の意味を平易に説いた絵本である。作者は孔子生誕の地、曲阜に赴き、孔子の誕生を祝う式典や孔子の子孫たちに取材し、2500年以上も生き続ける孔子の思想を探った。日本人にとっては耳慣れた論語の一節も、英訳文で読んでみると新鮮である。

随想

言葉による文化貢献

同時通訳者 平松 進



振り返ると、私と岡山県総合文化センターとのご縁は私が中学生の時にさかのぼる。中学校3年生の時、岡山県下の中学校から参加する「ライシャワートロフィー中学生英語スピーチコンテスト」

(以下、ライシャワー杯大会と略す)に参加するため、会場の総合文化センターに来た。期せずして優勝し「ライシャワー杯」を頂けたことは、その後の人生に計り知れない影響を及ぼした。

大学生の時には、岡山市から姉妹都市であるアメリカのサンノゼ市へ交換学生として留学した。滞在中、駐日アメリカ大使・ハーバード大学教授を務めたエドウィン・ライシャワー博士と親しく懇談していただけたことは終生の宝である。博士は私を温かく激励して下さり、その後丁寧なお手紙まで下さった。こうした振る舞いから私は、ライシャワー博士は文字通り超一流の人格者だと感じ入った。思い出すたびに、目頭が熱くなる。

さてライシャワー博士といえば、同時通訳について西山千先生とのエピソードを思い出す。ライシャワー博士は西山先生に「日本語と英語は語順が違うので同時通訳は不可能だ」と言われたが、工夫するうちにできたと西山先生は述べられている。私は「日英同時通訳開祖」の西山先生に知遇を得ることができた。また「同時通訳の神様」とされる國弘正雄先生にも厳しくも暖かいご指導を頂くことができた。身の幸せを噛み締めている。

私は大学生の時、英語検定試験1級に挑戦し、2万人以上の受験者の中から上位10位に入り「英検1級優秀賞」を頂いていた。しかし同時通訳は自分には無理だと思い込んでいた。こうした「思い込み」は能力の芽を摘む大敵であるから、心しなければならぬ。

現在、私は通訳訓練法を一般の英語教育に応用

して取り入れている。同時通訳の特徴の一つである「同時に聞いて話すこと」はできないというのは、まったく根拠がない。われわれは普通に話しながら同時に自分の声が耳から入り聞いているのではないか。聞いて話すという行為に語学習得の鍵が秘められている。

語学学習に「音読」の効果が説かれている。國弘先生ご自身が何千回と中学校の教科書を音読して同時通訳の草分けとなられたのである。音読の効用は、大脳科学からも明らかにされている。さらに音読は大脳を活性化し老化防止に役立つことが証明されている。

私がライシャワー杯大会に出場したことに、どれほど深い意義があったかがしみじみと痛感される。何百回と録音テープを聞き、音読したことか。そのゆるぎない基礎訓練があったからこそ、現在の同時通訳の技能が開花したのだと確信している。

私は、現在「財団法人岡山日米文化協会」の理事として、ライシャワー杯大会の審査員長を務めさせていただいている。さて岡山日米文化協会は存亡の危機に瀕していた。しかし、副理事長の川端親雄先生が、「協会を解散させてはならない。スピーチ大会の中止という中学生の夢を奪うようなことは絶対にしてはならない」と壮絶な決意に立ち孤軍奮闘してくださった。その結果、日米文化協会は見事に蘇生した。川端先生は世界的な業績を数々打ち立てられた著名な物理学者であるが、病める団体を健康にさせる「名医」でもある。

生きるこの意味が見出せる平和な世界のためには、豊かな文化と教育が欠かせない。言語は文化の結晶である。国際語である英語をきちんと身に付ける絶好の機会を青少年に差し伸べるライシャワー杯大会は、実に尊い文化・教育事業であると確信している。

第2回「世界お話の旅」世界の童話編・前編

世界の童話を英語で読んでみませんか？講師と一っしょに歌やゲームを楽しんで、外国の絵本にふれてみましょう。

開催日時 / 平成15年9月21日(日)

14:00~15:30

会場 / 岡山県総合文化センター第一会議室
岡山市天神町8-54

講師 / プライス・ウッドリー氏
(岡山県教育センター英語指導講師)

内容 / 童話の読み聞かせ、歌・ゲームやオーストラリアのお話

対象 / 幼稚園児・小学生とその保護者

問合せ先 / 岡山県総合文化センター奉仕課

国際資料係 ☎(086)224-1286

その他 / 入場無料。事前申し込み不要。

ただし、駐車場には限りがありますので公共の交通機関を利用してご来場ください。

ギャラリー

期間 (週)	第一展示室		第二展示室	
	大 室	小 室	大 室	小 室
9 / 30 10 / 5	第28回 岡山県教職員美術展 日本画35点・洋画110点・版画20点・彫刻10点・写真70点・書115点 <岡山県教職員互助組合> 入場無料			
10 / 7 10 / 12	第45回 養和書道院展 書約200点 <社養和書道院> 入場無料		第43回 西日展(公募) 書約300点 <社養和書道院> 入場無料	岡山県厚生年金受給者協会 いきがい美術展 書・日本画・洋画・写真・工芸等 約150点 <岡山県厚生年金受給者協会> 入場無料
10 / 14 10 / 19	第25回 玄画会展覧会(本展) 日本画18点・洋画18点・水墨画48点・工芸20点 <玄画会> 500円、学生・65歳以上・身障者・会員無料		チャールズ会岡山創立50周年記念展 油絵60点・日本画10点・水彩画40点 <チャールズ会岡山> 入場無料	
10 / 21 10 / 26	「現代作家の眼」クロスオーバー10展2003 (会期:10/22~11/2) <「現代作家の眼」展実行委員会> 中国・四国地方及び兵庫県在住の現代美術作家による選抜展 入場無料		第26回 瀬戸内版画展 版画70~80点 <瀬戸内版画会> 入場無料	白日会 岡山支部展 油絵25点・水彩5点・彫刻2点・ テンペラ2点 <白日会岡山支部> 入場無料
10 / 28 11 / 2			第39回 岡山彫刻会展 彫刻40点 <岡山彫刻会> 入場無料	第31回 日本画士筆会展 日本画約40点 <日本画士筆会> 入場無料
11 / 4 11 / 9	第40回 記念墨象会展 書約100点 <墨象会> 入場無料		第17回 こころをつなぐ作品展 絵画・デザイン・彫塑・工芸作品等約1,200点 <岡山県教育委員会> 入場無料	
11 / 12 11 / 16	第53回 岡山県勤労者美術展 日本画・洋画・書・写真 <社岡山県勤労者福祉協議会>			
11 / 18 11 / 23	第27回 岡山県高等学校総合文化祭・書道部門 (第17回岡山県高校生書道展覧会) 書約200点 <岡山県高等学校芸術文化連盟書道部会・岡山県高等学校書道連盟> 入場無料		第28回 金光ゆうざきフォト 集団写真展 写真120点 <金光ゆうざきフォト 集団> 入場無料	新紀会展 油絵25点 <新紀会> 入場無料
11 / 25 11 / 30	第19回 梅操展 日本画・洋画・書・染色・写真等 約115点<梅操会> 入場無料	第21回 ODA展 デザイン約50点 <岡山デザイナーズ協会> 入場無料	第27回 岡山県高等学校総合文化祭写真部門 (第20回岡山高写協写真展) 写真300点 <岡山県高等学校写真協議会> 入場無料	
企 画 巡回展	「現代作家の眼」アートウェブ岡山・巡回展<笠岡> 会期11/19~11/30 内容:平面 会場:フーコミュニティ(岡山県笠岡市五番町6-20笠岡グランドホテル内) 時間:午前10時~午後5時<「現代作家の眼」展実行委員会> 入場無料			

ギャラリーの開場時間は通常9時から17時です。
団体の都合により、展覧会名称・入場料等が変更されることもあります。
会員・・・文化センター友の会及び文化振興会会員

ホール(固定席282席)

日(曜)	催 物	時 間	料 金	主 催 者
10 / 3 (金) ~ 5 (日)	(第340回文化センター土曜劇場) 岡山県高等学校演劇協議会 公演	3日 14:50~ 4日 9:30~ 5日 9:30~	無 料	岡山県総合文化センター
10 / 11 (土)	ジョイントライブ	未 定	500円	ノートルダム清心女子大学 軽音楽部パピルス・岡山理 科大学軽音楽サークルRJB
10 / 12 (日)	ギター発表会	未 定	無 料	吉岡ギター教室
10 / 16 (木)	ピアノ研修会	未 定	無 料	カワイ音楽教室
10 / 18 (土) ・19 (日)	(第341回文化センター土曜劇場) 劇団黒い兎団 公演 「夜に、影踏み」	18日 15:00~ 19:00~ 19日 13:00~	前:1,300円 当:1,500円 (高校生以下 前:1,000円、当:1,300円) 会員・65歳以上・身体障害者無料	岡山県総合文化センター
10 / 24 (金) ・25 (土)	演劇公演 「夜に、影踏み」	24日 19:00~ 25日 13:00~	一 般 当:1,500円 前:1,300円 高校生以下 当:1,300円 前:1,000円	黒 い 兎 団
10 / 26 (日)	ピアノ発表会 タンゴダンス発表会	10:00~11:30 14:00~(予定)	無 料	森 口 徳 子 C H E T A N G O
10 / 29 (水)	平成15年度 第1回 花の銀行頭取会議	未 定	無 料	岡山県コミュニティー協会
10 / 31 (金)	地域子育て支援研修会	10:00~15:00	無 料	岡山県愛育委員連合会
11 / 1 (土)	OTSシンフォニーコンサート	未 定	無 料	岡山県小学校音楽教育研究会
11 / 2 (日)	定期演奏会	未 定	未 定	岡山理科大学校友会文化局軽音楽部
11 / 8 (土)	ピアノ発表会	未 定	無 料	フ レ ン ズ
11 / 9 (日)	ピアノ発表会	未 定	無 料	石 井 睦 美
11 / 15 (金) ・16 (日)	演劇公演「哄笑」	15日 18:30~ 16日 13:30~	1,500円	古市福子プロデュース ゲ ル - プ
11 / 23 (日)	ピアノ発表会	13:00~15:00	無 料	さとみピアノ教室
11 / 29 (土) ・30 (日)	(第342回文化センター土曜劇場) びっくり座ユニークシアター & 岡山ろう者劇団「夢二」 公演 「ごんぎつね」(仮)	29日 14:00~ 18:00~ 30日	前:1,200円 (小人:500円) 当:1,500円 (小人:700円) 会員・65歳以上・身体障害者無料	岡山県総合文化センター

ホールは、固定席282席です。
主催団体の都合で、中止・変更等の場合もありますので、事前に御確認願います。
会員・・・文化センター友の会及び文化振興会会員

催し物案内と文化センターニュースはホームページでもご覧になれます。(http://www.libnet.pref.okayama.jp)